

地質サイトカード

カードNo.		B-⑤-1	通しNo.	42	作成日	2025/3/10		
サイト名		宍道湖で孤立した島～ ^{よめがしま} 嫁ヶ島						
基本情報	エリア	出雲平野・宍道湖・中海低地帯 眺望サイト						
	区分	☒ 地質・地形		☐ 生態	☒ 文化			
	利用価値	☒ 科学		☒ 教育	☒ 観光・ツアー			
	所在地	松江市袖師町						
	アクセス	山陰道 松江西インターから約3km、約5分。宍道湖夕日スポット。						
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場（台） ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☒ 観光施設（夕日スポット）						
	看板整備							
	留意点							位置情報
保護・保全	法規制・関連団体等	宍道湖北山県立自然公園、ラムサール条約湿地 国土交通省出雲河川事務所						
	保全メモ							
サイトの解説	みどころ	日本夕日百選に選定された松江の代表的風景						
	地質・地形	松江市中心部には、約1000万～1200万年前（松江層の時代）に活動したアルカリ玄武岩が分布しており、丘陵の一部を形成している。嫁ヶ島は宍道湖に浮かぶ唯一の島であり、松江層の時代に噴出した玄武岩の一部である。嫁ヶ島玄武岩と同質の玄武岩は、乃木付近の丘陵地を形成するなどして、市内に広く分布している。現在の嫁ヶ島は松江市街の南西部、袖師町沖約200mに位置する全長約110m、幅約30m、周囲約240mの小島であるが、江戸時代初期には対岸の袖師につながる玄武岩の岬があり、石材として掘削されて岬が無くなったと伝えられている。また、島の周囲には、松江藩の時代に考案されたとされる波除のための来待石製の「如泥石（じょでいいし）」が設置されている。嫁ヶ島を含む宍道湖の夕日は絶景スポットであり、日本夕日百選に選定されている。						
歴史・文化 生物・生態 等								
写真・図等								
参考文献		島根地質百選,坪田ほか(2007)						